

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H23.6.30現在)

	6月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成23年度(今年度)	9件	18件	0人	4人
平成22年度(昨年度)	6件	21件	0人	9人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

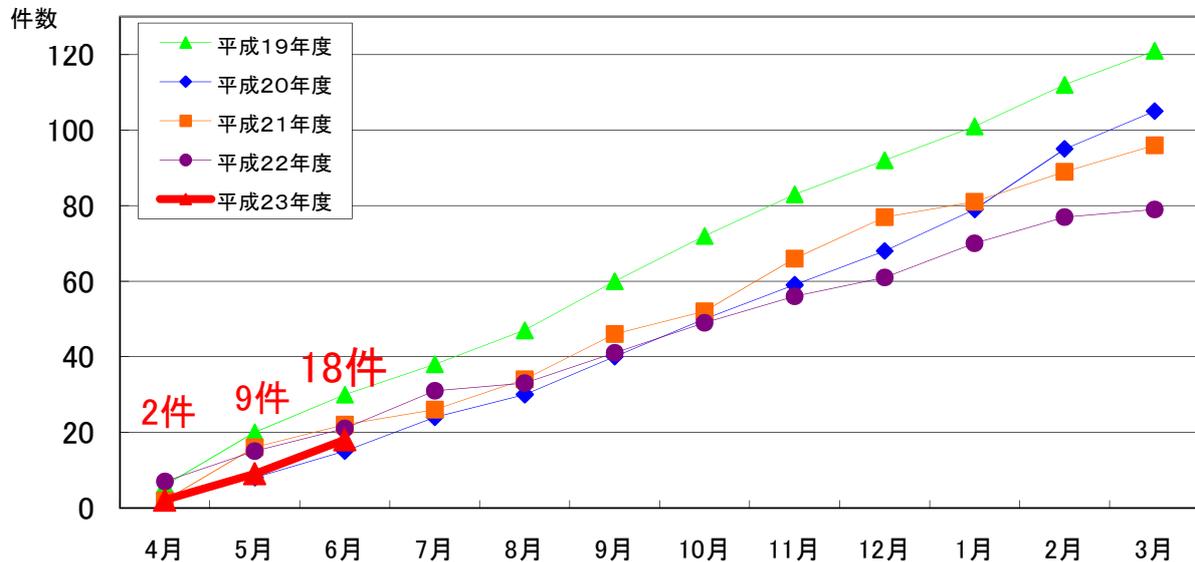
注2) 「6月発生件数」は、6/1～6/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～6/30の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～6/30の累計人数を示す。

注5) 平成23年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数

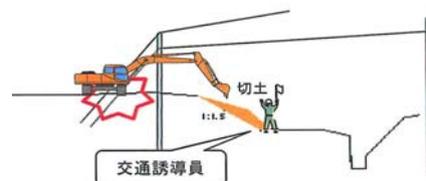
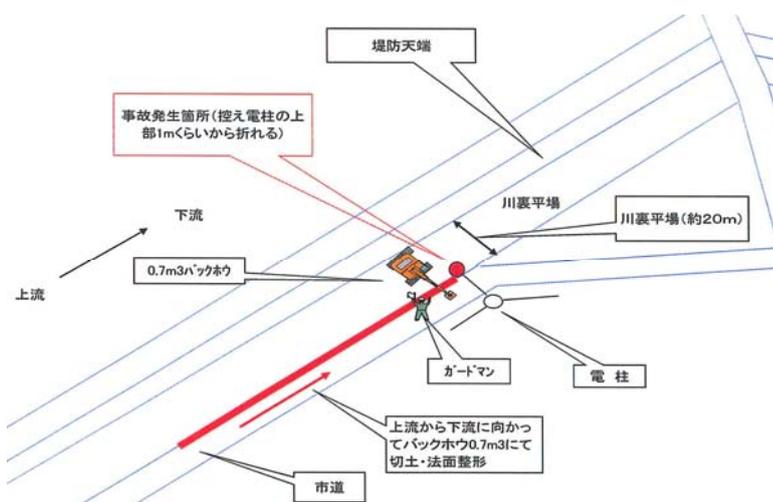


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計	6件	20件	30件	38件	47件	60件	72件	83件	92件	101件	112件	121件
(月毎)	(6件)	(14件)	(10件)	(8件)	(9件)	(13件)	(12件)	(11件)	(9件)	(9件)	(11件)	(9件)
平成20年度 累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	79件	95件	105件
(月毎)	(2件)	(6件)	(7件)	(9件)	(6件)	(10件)	(10件)	(9件)	(9件)	(11件)	(16件)	(10件)
平成21年度 累計	2件	16件	22件	26件	34件	46件	52件	66件	77件	81件	89件	96件
(月毎)	(2件)	(14件)	(6件)	(4件)	(8件)	(12件)	(6件)	(14件)	(11件)	(4件)	(8件)	(7件)
平成22年度 累計	7件	15件	21件	31件	33件	41件	49件	56件	61件	70件	77件	79件
(月毎)	(7件)	(8件)	(6件)	(10件)	(2件)	(8件)	(8件)	(7件)	(5件)	(9件)	(7件)	(2件)
平成23年度 累計	2件	9件	18件									
(月毎)	(2件)	(7件)	(9件)									

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

発生日時	平成 23 年 6 月 1 日 (水) 16 時 0 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	電柱損傷	
事故概要	川裏法面整形作業中に東電電柱の支線柱ワイヤーをバックホウにて踏み、支線柱上部を折損させたもの。				
公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



・バックホウにて法面の切土を施工しながら横移動していた。

・支線控柱を支えていた支線ワイヤーをバックホウのキャタピラで踏んだため引っ張られて、そのワイヤーが取り付けられていた支線控柱の頭部が折損したもの。
(電線の損傷、通電への影響なし)



現場損傷状況

【事故発生原因】

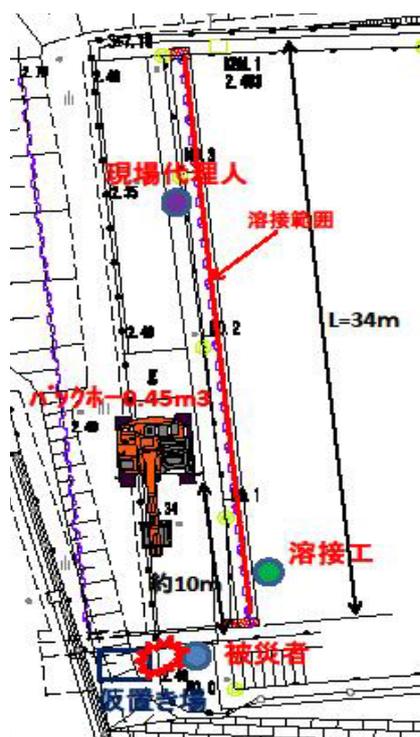
- ・作業時に誘導員が現場にいなかった。
- ・支障物付近の注意喚起が不十分であったため。 など

【事故防止のポイント】

- 支障物がある箇所で作業する場合は、
- ・誘導員の配置を行う。
- ・目印を設置するなど注意喚起を行う。 など

発生日時	平成 23 年 6 月 7 日 (月) 13 時 30 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	31	作業員	右大腿部負傷	
事故概要	現場にて仮置きしてあった型枠補助金具が倒れ、作業員に接触し、負傷したもの。				
	工事関係者事故一運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷				

事故発生状況



- ・仮置きしていたブラケット鋼材の横で、1個を取り出し、玉掛作業の準備のため、ワイヤーを取り付けていた。
- ・作業を行っていたところ、立てかけてあったブラケット鋼材が倒れ、作業員にあたり負傷した。

【事故発生原因】

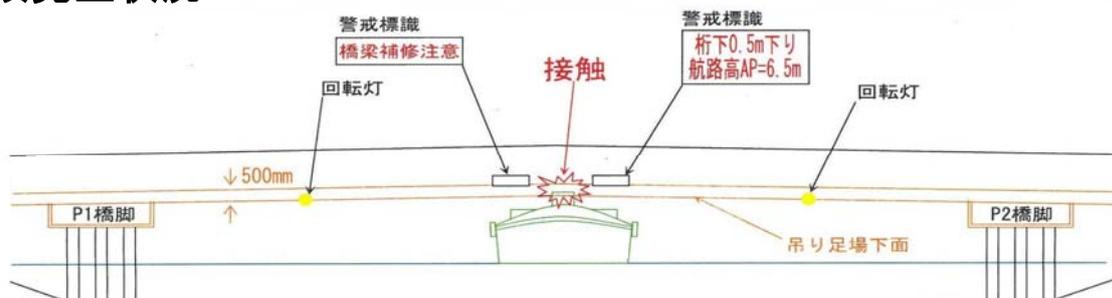
- ・ブラケット鋼材の仮置き状況について安全確認が不十分だったため。
- ・作業場所と仮置き場所が近接していたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・仮置きする場合は、横に寝かせて倒れにくくする。
- ・作業場所と仮置き場所を区画明示することで、接近した作業にならないようにする。 など

発生日時	平成 23 年 6 月 8 日 (水) 3 時 40 分			天候	雨
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	船舶損傷	
事故概要	橋下を航行した船舶の操縦席が仮設中の吊り足場に接触、損傷したものを。				
公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



- ・事故当日は吊り足場設置作業で、事故時は作業が終了し、現場には作業員はいなかった。
- ・現地測量の結果、吊り足場の設置高さが計画高さより低いことが判明。
- ・並行している別の橋梁と、海面からの高さが同じだと思って施工計画を立てたが、実際は今回接触した橋梁の高さが低かったため、吊り足場の設置高さは航路高6.5mより低くなっていた。



足場損傷状況



船舶損傷状況(操舵室のキャビンが破損)

【事故発生原因】

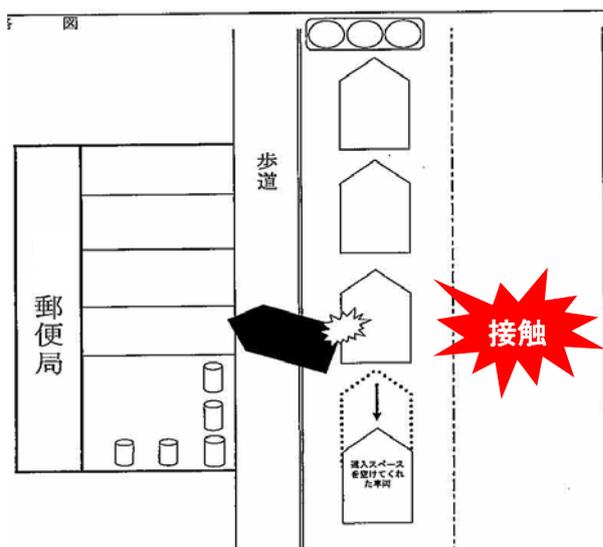
- ・足場を設置した橋の高さを誤認していたため。
 - ・現地にて測量を行わなかったため、現場にて誤認識に気づけなかった。
- など

【事故防止のポイント】

- ・既存資料の確認照査を実施するとともに現地測量を行って施工計画を立てる。
 - ・作業実施状況の確認として、現地測量を行い、現場管理を行う。
- など

発生日時	平成 23 年 6 月 10 日 (金)			9 時 28 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	相手方車両・官用車損傷		
事故概要	バックにて道路へ出ようとした際に、停車していた車両に接触、損傷させたもの。					
公衆損害事故－第三者の負傷・第三者車両に対する損害						

事故発生状況



・郵便局の駐車場からバックで車道に出ようとした。車道にはすでに数台信号待ちで停車していた。

スペースを空けてもらった車両の前に入ろうとバックした際に、前方に止まっていた車両に接触、損傷させたもの。



官用車損傷状況



相手方車両損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
・周囲を十分確認し、無理のない操作を行うよう心がける。

など

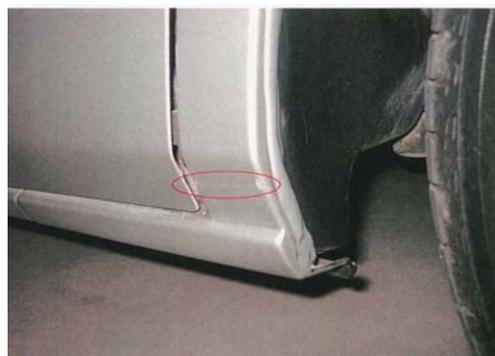
発生日時	平成 23 年 6 月 10 日 (金) 15 時 45 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	官用車にて河川敷へ入るための進入路を通行した際に、縁石に接触、車両を損傷させたもの。				
	公衆損害事故-その他				

事故発生状況

○現地写真



接触



車両損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の左側方確認不足によるもの。

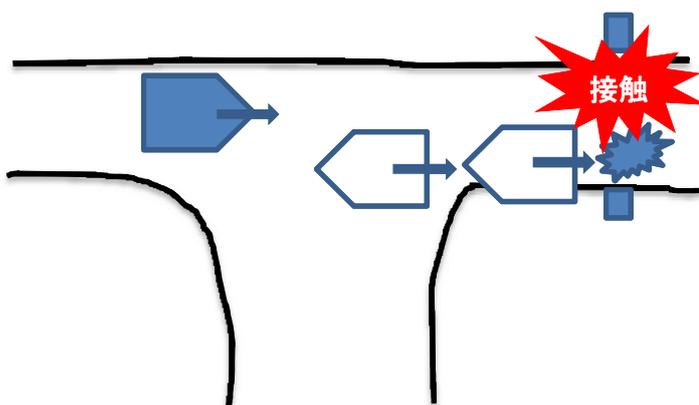
【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
・周囲を十分確認し、操作に無理がないような箇所を通行するようにする。

など

発生日時	平成 23 年 6 月 13 日 (水) 14 時 50 分			天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	対向車とすれ違えるようバックした際に、鉄製ポールに接触、車両を損傷させたもの。				
	公衆損害事故-その他				

事故発生状況



・対向車が前方から来たため、道を譲ろうと前を走行していた車がバックしてきたため、同様にバックしたところ、鉄製ポールに接触し、車両を損傷。



車両損傷状況



接触した鉄製ポール

【事故発生原因】

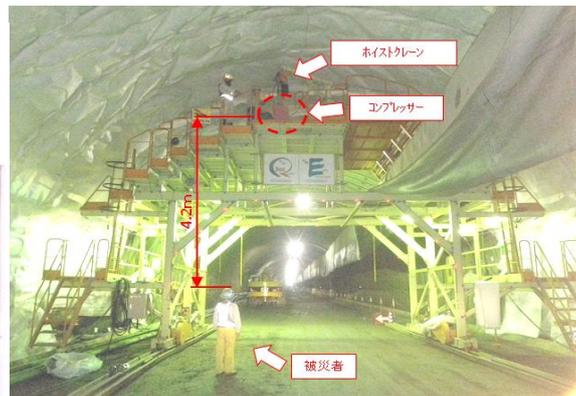
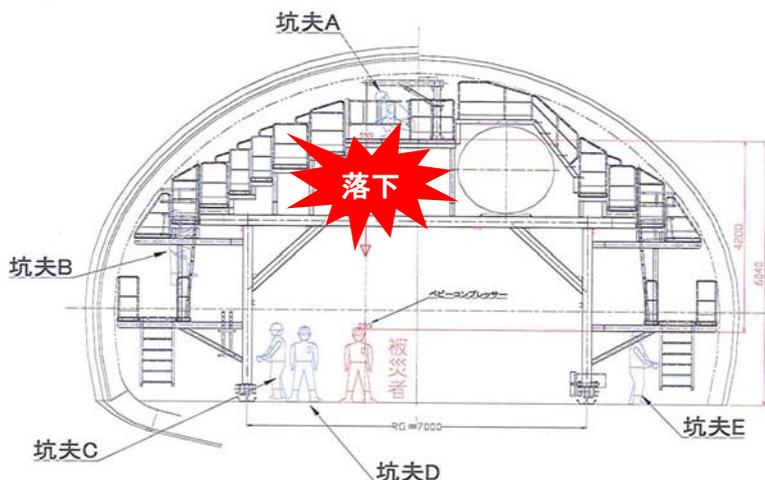
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

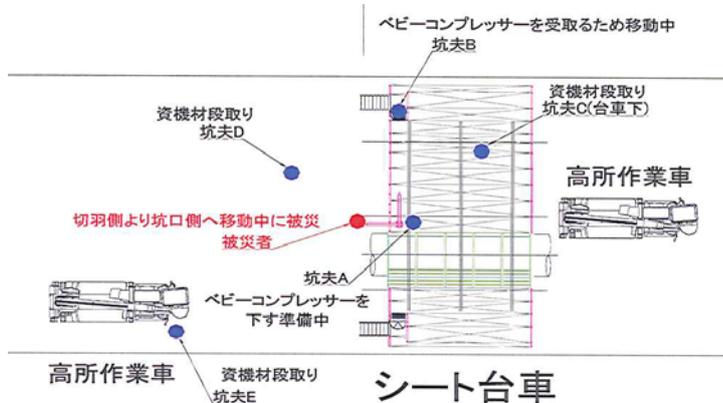
・車両安全運転教育の徹底。
 ・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。
 など

発生日時	平成 23 年 6 月 27 日 (月) 19 時 40 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	55	作業員	頭部外傷・頸椎捻挫	
事故概要	コンプレッサーをホイストクレーンのフックに吊り下げたところ、コンプレッサーの取っ手がとれて落下、作業員に接触し負傷したもの。				
工事関係者事故ー運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷					

事故発生状況



コンプレッサーの片側の取っ手しか掛けておらず、掛けていたほうの取っ手がはずれたため、落下



【事故発生原因】

- ・コンプレッサーの取っ手を片側しかかけていなかったため。
- ・吊荷の下を立入禁止区域に設定するなどの注意が不足していたため。

(労働基準監督署より是正勧告書<安衛法第21条、安衛則第537条>)

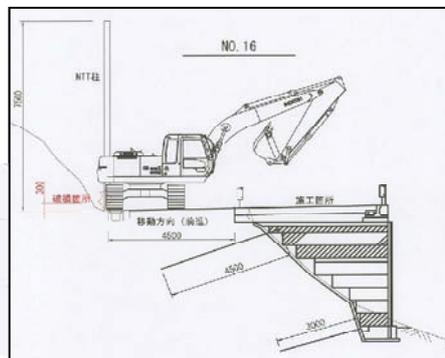
【事故防止のポイント】

- ・ホイストクレーンの正しい使用方法を作業員へ周知・徹底する。
- ・危険箇所については、立入区域を設定し、作業員へ周知・徹底する。

など

発生日時	平成 23 年 6 月 28 日 (火) 13 時 30 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	電柱損傷	
事故概要	バックホウを移動させようとしたところ、電柱に接触、損傷させたもの。				
公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



損傷状況



- ・作業に入るため、重機を移動させているところだった。
- ・掘削方向にアームを90°旋回させ、位置の微調整を行っている際に、電柱にバックホウが接触し、損傷させた。
- ・誘導員を配置していなかった。

【事故発生原因】

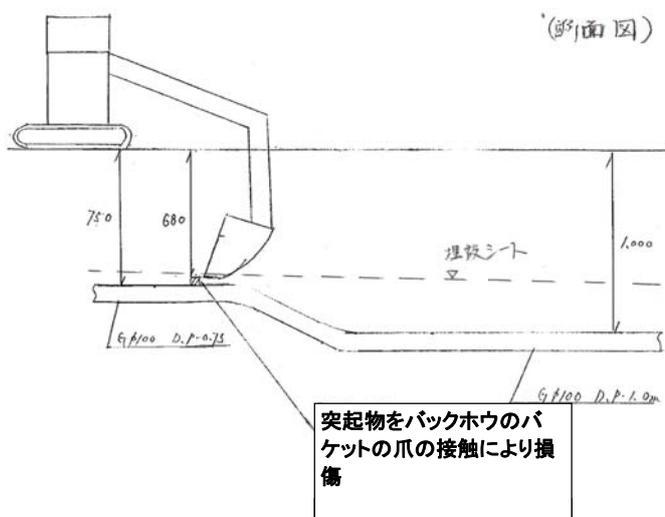
- ・誘導員を配置していなかったため。
- ・電柱に対して防護や明示等の措置を行っておらず、電柱に対する作業員の注意が不足していたため。 など

【事故防止のポイント】

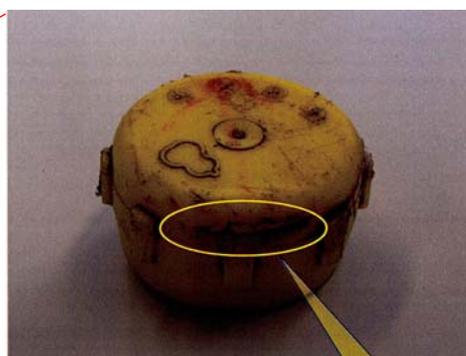
- ・狭い箇所での移動の際は誘導員を設置する。
- ・電柱などの支障物については、事前に防護するなど対策を行い、作業員に周知・徹底を行う。 など

発生日時	平成 23 年 6 月 29 日 (水) 22 時 40 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	ガス管損傷	
事故概要	電線管路の敷設作業中、バックホウにてガス管を損傷させたもの。				
公衆損害事故-地下埋設物件損傷					

事故発生状況



- ・電線共同溝の管路部(歩道部)の布設作業
- ・ガス会社に立会いを依頼し、ガス管を確認した後、機械掘削を行っていた。
- ・作業中、ガスの臭いがしたため、ガス会社に復旧依頼。
- ・突起物と本管との接合部に亀裂が入っていることが分かった。
←ガス管の突起物をバックホウの爪の接触により損傷させた



損傷状況

バケットの爪により損傷

【事故発生原因】
 ・埋設物近接箇所での掘削について安全対策が不十分であったため。
 など

【事故防止のポイント】
 ・作業手順について作業員に周知・徹底する。
 ・地下埋設物近接箇所では、不用意に重機を用いて作業をしない。
 など